

グローバル Plus ONE 副専攻プログラム 履修案内 (平成28年度版)



目 次

1. グローバル Plus ONE 副専攻プログラムとは	p 1
2. 履修方法	p 2
3. 修了証書申請方法	p 6
4. 問い合わせ先	p 7
参考資料 1. 平成 2 8 年度開講科目一覧	p 8
参考資料 2. 申請書類	
様式① 大学院生用履修申請書.....	p 13
様式② 「科目群 A」単位修得計画書.....	p 14
様式③ 「科目群 A」単位認定申請書.....	p 15
様式④ 修了証書申請書.....	p 16

1. グローバル Plus ONE 副専攻プログラムとは

◆目的

グローバル Plus ONE 副専攻プログラムは、自国文化の理解とアイデンティティに立脚しながら、チームリーダーとして世界をフィールドに活躍できる外国語能力、情報発信能力、異文化間協働能力に優れたグローバル人材の育成を目的とするプログラムです。

◆対象学生

本学の**正規学生全員（学部生・大学院生）**を対象としています。特に海外の協定校への交換留学やショート・ビジット（SV）などの海外留学を希望する学生や、留学から帰国した学生の履修を奨励しています。

◆開講科目

外国人留学生を主な対象とした「YOKOHAMA Creative-City Studies (YCCS)特別プログラム」向けの**英語による授業科目（教養教育科目や国際交流科目）**を中心に開講されています。開講される授業科目は年度ごとに異なります。今年度の情報については p 9 の参考資料 2 を参照してください。

◆コース内容と修了要件

このプログラムは、**3つのコース**により構成されています。【表 1】に定められた単位を修得した学生は、Plus ONE オフィスに申請することにより、該当するコースの**修了証書が発行されるとともに、成績証明書に副専攻名と修了コース名が記載されます。**

【表 1】コース別修了要件

コース名	科目群 A	科目群 B	科目群 C	科目群 D	科目群 E	合計 単位数
グローバル・アシスタント コース	「科目群 A～D」の2つ以上の科目群からそれぞれ2 科目以上、合計8単位以上				1科目 以上	10単位 以上
グローバル・アソシエイト コース	「科目群 A～D」の3つ以上の科目群からそれぞれ2 科目以上、合計12単位以上				1科目 以上	14単位 以上
グローバル・リーダー／ ファシリテーターコース	「科目群 A～D」の4つの科目群からそれぞれ2科目 以上、合計16単位以上				2科目 以上	20単位 以上

1. グローバル・アシスタントコースは、多文化色の強い国際的な環境の中でも、グローバル人材として協調性を持ってチームに寄与することができる次世代の人材育成を目的とするコースです。
2. グローバル・アソシエイトコースは、多文化色の強い国際的な環境の中でも、グローバル人材として協調性を持ち、リーダーの右腕としてチームに寄与することができる次世代の人材育成を目的とするコースです。
3. グローバル・リーダー／ファシリテーターコースは、多文化色の強い国際的な環境の中でも、グローバルな人材として協調性を持ち、調整役としてバランス感覚の優れたリーダーシップを兼ね備え、様々な場面でチームに寄与できる「グローバル・リーダーやグローバル・ファシリテーター」育成を目的とするコースです。

2. 履修方法

◆「科目群 A」以外の科目について

Plus ONE オフィスへの申請等、**特別な手続きは必要ありません**。受講を希望する科目について、春学期と秋学期の履修登録期間中に**他の科目と同様にウェブサイト（学務情報システム）から履修登録**をしてください。

ただし、**大学院生の場合**は、履修登録期間中に、**様式①「大学院生用履修申請書」**を Plus ONE オフィスに提出する必要があります。（学部の授業科目を履修することになるため、自分でウェブサイトから履修登録することはできません。）

開講される授業科目や時間割コードは年度ごとに異なります。今年度の情報については、参考資料1で確認してください。

◆「科目群 A」の科目について

「科目群 A」は、主に**海外の大学や大学院での学修**が対象となります。対象となる科目は【表 2】のとおりです。

【表 2】「科目群 A」対象科目一覧

科目の種類	単位の取り扱い	提出が必要な書類
1. 所属学部・大学院で認定された科目： 海外の大学・大学院で単位を修得した科目のうち、所属学部・大学院で単位が認定されたもの	・Plus ONE 副専攻プログラム 委員会で単位認定審査は行わない。	・様式③「単位認定申請書」 ・所属学部・大学院が発行する単位認定書の写し
2. 所属学部・大学院が開講する科目： 本学の学部・大学院が提供する科目のうち、SV等、海外での学修を含むもの	・「科目群 A」の修了単位としてそのまま利用できる。	・様式③「単位認定申請書」 ・海外での学修を証明できる資料
3. 海外で単位を修得した科目： 海外の大学・大学院で単位を修得した科目のうち、所属学部・大学院で単位が認定されないもの	・Plus ONE 副専攻プログラム 委員会で単位認定審査を行う。 ・上記審査で認定された場合は、「科目群 A」の修了単位としてそのまま利用できる。	・様式③「単位認定申請書」 ・単位修得証明書 ・学修内容、学修時間が分かる資料
4. 単位が出ない海外での学修： その他、海外での学修で単位が出ないもののうち、学修内容や学修時間が証明できるもの	・Plus ONE 副専攻プログラム 委員会で単位認定審査を行う。 ・上記審査で認定された場合には、【表 3】の該当する科目（現代科目）として単位を「認定」する。	・様式②「単位修得計画書」（渡航前） ・様式③「単位認定申請書」（渡航後） ・学修内容、学修時間が分かる資料
5. 海外旅行安全対策・危機管理： 海外に学修に行く場合の事前研修として、国際戦略推進機構が開講するもの	・教養教育科目の「現代科目」 ・通常の成績評価を行う。	特になし

「1. 所属学部・大学院で認定された科目」および「2. 所属学部・大学院が開講する科目」については、Plus ONE 副専攻プログラム委員会で単位認定審査を行いません。単位が認定された後または単位を修得した後に、必要書類を揃えて Plus ONE オフィスに提出してください。

「3. 海外で単位を修得した科目」および「4. 単位が出ない海外での学修」については、Plus ONE 副専攻プログラム委員会で単位認定審査を行います。所定の様式とともに「学修内容、学修時間が分かる資料」として、以下の資料を Plus ONE オフィスに提出してください。

なお、「4. 単位が出ない海外での学修」の単位認定については、事前に「5. 海外旅行安全対策・危機管理」またはそれに準ずる内容を履修していることが条件になりますので注意してください。

[渡航前]活動概要・実施計画、実施体制がわかるパンフレットなど。

[帰国後]現地活動報告、成果物・記録写真、指導教員・担当教員の評価や評価報告など。

◆「4. 単位が出ない海外での学修」について

Plus ONE 副専攻プログラム委員会で認定された単位は、【表3】のとおり教養教育科目の「現代科目」の単位となります。（ただし、この単位が卒業単位になるか増加単位になるかは、学部・大学院により異なりますので、所属学部・大学院の学務担当係で確認してください。）

【表3】「4. 単位が出ない海外での学修」で認定される科目群Aの科目と単位

科目名		単位数	具体的な内容、必要時間、その他
1)	(在学中1回目に適用) Practice in International Diplomacy I A (民間外交実習 I A)	現代科目 1 単位	・海外で、協定大学の学生との交流、語学研修、異文化体験、サマープログラム等を30時間以上行った場合。 ・事前に「海外旅行安全対策・危機管理 I」またはそれに準ずる内容を履修していること ・成績評価は「認定」となる。
	(在学中2回目に適用) Practice in International Diplomacy I B (民間外交実習 I B)	現代科目 1 単位	
2)	(在学中1回目に適用) Practice in International Diplomacy II A (民間外交実習 II A)	現代科目 2 単位	・海外で、協定大学の学生との交流、語学研修、異文化体験、サマープログラム等を60時間以上行った場合。 ・事前に「海外旅行安全対策・危機管理 I」またはそれに準ずる内容を履修していること ・成績表は「認定」となる
	(在学中2回目に適用) Practice in International Diplomacy II B (民間外交実習 II B)	現代科目 2 単位	
3)	Transcultural Practice in Overseas I (海外異文化実習 I)	現代科目 1 単位	・交換留学で半期程度海外に学修に行った場合に、留学先で単位認定された学修以外の学修が単位の対象となる。 ・事前に「海外旅行安全対策・危機管理 I」ま

			たはそれに準ずる内容を履修していること ・成績評価は「認定」となる。
4)	Transcultural Practice in Overseas II (海外異文化実習Ⅱ)	現代科目 1単位	・交換留学で1年程度海外に学修に行った場合に、留学先で単位認定された学修以外の学修が単位の対象となる。 ・事前に「海外旅行安全対策・危機管理Ⅰ」またはそれに準ずる内容を履修していること ・成績評価は「認定」となる。
5)	International Volunteer I (国際ボランティアⅠ)	現代科目 1単位	・海外の国際機関等で30時間以上のボランティア活動を行う場合。 ・事前に「海外旅行安全対策・危機管理Ⅰ」またはそれに準ずる内容を履修していること ・成績評価は「認定」となる。 ・国内の国際機関等で活動を行う場合は別途要相談。
6)	International Volunteer II (国際ボランティアⅡ)	現代科目 2単位	・海外の国際機関等で60時間以上のボランティア活動を行う場合。 ・事前に「海外旅行安全対策・危機管理Ⅰ」またはそれに準ずる内容を履修していること ・国内の国際機関等で活動を行う場合は別途要相談。

◆「5. 海外旅行安全対策・危機管理」について

海外で学修するにあたっては、必ず、事前に【表4】の「Safety and Crisis Management for Overseas Travel（海外旅行安全対策・危機管理）」またはそれに準ずる内容を履修して十分な知識を身に付けた上で、プログラム担当者・引率者の指示に従い、参加してください。なお、「4. 単位が出ない海外での学修」の単位認定については、事前に「5. 海外旅行安全対策・危機管理」またはそれに準ずる内容を履修していることが条件になりますのでご注意ください。また、【表4】のとおり教養教育科目の「現代科目」の単位となります。（ただし、この単位が卒業単位になるか増加単位になるかは、学部・大学院により異なりますので、所属学部・大学院の学務担当係で確認してください。）

【表4】「5. 海外旅行安全対策・危機管理」

科目名		単位数	具体的な内容、必要時間、その他
1)	Safety and Crisis Management for Overseas Travel I (海外旅行安全対策・危機管理Ⅰ)	現代科目 1単位	・海外に学修に行く場合の事前研修。 ・通常の成績評価を行う。

2)	Safety and Crisis Management for Overseas Travel II (海外旅行安全対策・危機管理Ⅱ)	現代科目 1 単位	・海外に学修に行く場合の事前研修（移動中訓練を含む 1 泊 2 日の宿泊研修。） ・事前または同時に「海外旅行安全対策・危機管理Ⅰ」を履修していること。 ・通常の成績評価を行う。
----	--	--------------	---

◆海外での学修に係る注意事項

海外で学修するにあたっては、以下の点に注意してください。

- ・助言教員・指導教員と日程や内容について十分に相談した上、「海外渡航届」を所属の学務担当係に提出してください。
- ・必ず、事前に「Safety and Crisis Management for Overseas Travel I（海外旅行安全対策・危機管理Ⅰ）」またはそれに準ずる内容を履修して十分な知識を身に付けた上で、プログラム担当者・引率者の指示に従い、参加してください。
- ・海外での学修については、在学期間には含まれるもの、含まれないものがあります。在学期間に含まれる場合でも、卒業修得単位数や卒業論文作成、就職活動との兼ね合い等、十分に検討してください。
- ・交換留学や「トビタテ留学 J A P A N」については、国際教育課留学交流係（学生センター）で様々な相談を受け付けます。また、海外留学のための各種資料もありますので利用してください。
- ・グローバル Plus ONE 副専攻プログラムは学生の海外での活動について責任を負うものではありません。

3. 修了証書申請方法

◆修了証書申請方法

p 1 の【表 1】の 3 コースそれぞれについて要件を満たした時点で申請できます。単位を満たしながら 3 回申請すれば、3 種類の修了証書を取得することも可能です。（それぞれの申請に修得済みの同じ科目の単位を使うことができます。）

- ・申請は様式④「**修了証書申請書**」に必要事項を記入し、Plus ONE オフィスに申請します。
- ・申請に基づき、各コースの修了要件を満たしているかを副専攻プログラム委員会が審査します。審査の結果、要件を満たしていると判断された場合には、**国際戦略推進機構長から修了証書が授与され、成績証明書に副専攻名および修了コース名が記載**されます。
- ・申請は随時受け付けますが、**4 月の第 3 金曜日、8 月の第 3 金曜日、10 月の第 3 金曜日、2 月の第 3 金曜日を受付締切日**とし、それぞれ**5 月末、9 月末、11 月末、3 月末に修了証書が交付**されます。卒業年次の場合、必ず卒業前までの指定期日までに申請する必要がありますので、ご注意ください。

4. 問い合わせ先

グローバル Plus ONE 副専攻プログラムに係る問い合わせ先は以下のとおりです。

Plus ONE オフィス（学生センター 2 F）

横浜国立大学学務部国際教育課

国際教育係

Email : plus1@ynu.ac.jp

Tel: 045-339-3186

www.plus1.ynu.ac.jp



参考資料 1. 平成 28 年度開講科目について

平成 28 年度の開講科目は以下のとおりです。開講学期、曜日、時限は変更される場合があります。最新の情報については、学務情報システムや掲示板等でご確認ください。

科目群 A（海外実習・国際経験科目）

単位が卒業単位になるか増加単位になるかは、学部・大学院により異なりますので、所属学部・大学院の学務担当係で確認してください。

時間割コード	期間	曜日	時限	科目名	科目区分・備考
9003087	春	不定期	不定期	Safety and Crisis Management for Overseas Travel I	教養教育科目 (現代科目)
9003088	秋	不定期	不定期	Safety and Crisis Management for Overseas Travel I	教養教育科目 (現代科目)
9003089	春	不定期	不定期	Safety and Crisis Management for Overseas Travel II	教養教育科目 (現代科目)
9003090	秋	不定期	不定期	Safety and Crisis Management for Overseas Travel II	教養教育科目 (現代科目)
—	—	—	—	Practice in International Diplomacy I A	教養教育科目 (現代科目)
—	—	—	—	Practice in International Diplomacy I B	教養教育科目 (現代科目)
—	—	—	—	Practice in International Diplomacy II A	教養教育科目 (現代科目)
—	—	—	—	Practice in International Diplomacy II B	教養教育科目 (現代科目)
—	—	—	—	Transcultural Practice in Overseas A	教養教育科目 (現代科目)
—	—	—	—	Transcultural Practice in Overseas B	教養教育科目 (現代科目)
—	—	—	—	International Volunteer A	教養教育科目 (現代科目)
—	—	—	—	International Volunteer B	教養教育科目 (現代科目)

科目群B（ICT&ビジネススキル科目）

時間割コード	期間	曜日	時限	科目名	科目区分・備考
XGUCT01	秋	水	2	Advanced Digital Communications	国際交流科目
9001053	秋	火	4	Advertisement Art #1	教養教育科目 (人文社会)
9001054	春	火	4	Advertisement Art #2	教養教育科目 (人文社会)
9002070	秋	火	4	Applicable Computing	教養教育科目 (自然科学)
9003062	秋	木	4	Business Administration and its Operation	教養教育科目 (現代科目)
9003082	秋	木	3	Business Logics and Team Consensus	教養教育科目 (現代科目)
9003064	春	木	3	Business Management with Accounting and Finance	教養教育科目 (現代科目)
9003079	春	月	4	Business Planning and Intellectual Property	教養教育科目 (現代科目)
9003058	春	木	3	Business Problem Solving and Project Management	教養教育科目 (現代科目)
9002078	秋	木	4	Business Problem Solving Logics and Framework	教養教育科目 (自然科学)
9002071	春	月	2	Cyber Studies	教養教育科目 (自然科学)
9002072	秋	集中 2月	集中	ICT Literacy	教養教育科目 (自然科学)
9002073	秋	集中 2月	集中	ICT Project	教養教育科目 (自然科学)
9002069	秋	月	3	Modeling with Calculus and Algebra	教養教育科目 (自然科学)
9002068	春	木	4	Modeling with Statistics	教養教育科目 (自然科学)
9003061	秋	月	4	Plagiarism and its Regulations	教養教育科目 (現代科目)
9001055	秋	火	5	Studio Workshop #1	教養教育科目 (人文社会)
9001056	春	火	5	Studio Workshop #2	教養教育科目 (人文社会)
9001057	秋	木	4	Studio Workshop #3	教養教育科目 (人文社会)
9001059	秋	木	5	Studio Workshop #5	教養教育科目 (人文社会)

科目群 C (コミュニケーション&コラボレーション科目)

時間割コード	期間	曜日	時限	科目名	科目区分・備考
9001050	春	木	3	Arabic language and its culture	教養教育科目 (人文社会)
9003081	秋	火	5	Business Communication & Emotional Literacy	教養教育科目 (現代科目)
9001062	秋	水	4	Business Japanese Language and Culture #1	教養教育科目 (人文社会)
9001051	春	火	4	Business Japanese Language and Culture #2	教養教育科目 (人文社会)
9001052	秋	火	4	Business Japanese Language and Culture #3	教養教育科目 (人文社会)
9003127	秋	月	4	Business Problem Solving by Team	教養教育科目 (総合科目)
9003125	秋	金	3	Collaborative Studies #1	教養教育科目 (総合科目)
9003126	春	金	3	Collaborative Studies #2	教養教育科目 (総合科目)
9003055	秋	火	3	Community Studies	教養教育科目 (現代科目)
9001048	秋	木	4	Elements of Linguistic Knowledge #1	教養教育科目 (人文社会)
9001049	春	木	4	Elements of Linguistic Knowledge #2	教養教育科目 (人文社会)
9003080	秋	火	4	Facilitation and Empowerment for Team Building	教養教育科目 (現代科目)
9003057	春	火	4	Life-Long Planning and Global Career Design	教養教育科目 (現代科目)
9003056	秋	水	3	Multicultural Practice	教養教育科目 (現代科目)
9003129	秋	不定期	不定期	Multicultural Team-works #1	教養教育科目 (総合科目)
9003130	春	不定期	不定期	Multicultural Team-works #2	教養教育科目 (総合科目)
9003071	春	火	3	Urban Dynamism of Yokohama	教養教育科目 (現代科目)

科目群D（学部提供グローバル科目）

時間割コード	期間	曜日	時限	科目名	科目区分・備考
X5UCC03	春	木	4	Animation Culture	国際交流科目※ （教育人間科学部）
X3USM01	春	火	1	Business Accounting	国際交流科目※ （経営学部）
X5UCC04	春	金	3	Cinema and Politics in Japanese Contexts	国際交流科目※ （教育人間科学部）
X3USM06	春	木	3	City Marketing and Tourism	国際交流科目※ （経営学部）
X5UCC07	秋	木	5	Comparative Japanese Subculture Studies	国際交流科目※ （教育人間科学部）
X5UCC08	秋	金	4	Documentary Film-making and Ethnography	国際交流科目※ （教育人間科学部）
X5UCC09	秋	金	3	Politics of the Visual in Postwar Japan	国際交流科目※ （教育人間科学部）
X3USM04	春	水	3	Electric Vehicles and Corporate Strategy	国際交流科目※ （経営学部）
X3USM07	秋	月	5	Global Management in Asia	国際交流科目※ （経営学部）
X2USM01	春	火	3	International Trade Policy I	国際交流科目※ （経済学部）
X2USM02	秋	火	3	International Trade Policy II	国際交流科目※ （経済学部）
X2USM06	秋	金	4	Introduction to United States Foreign Policy	国際交流科目※ （経済学部）
X2USM05	秋	金	2	Introduction to American Politics	国際交流科目※ （経済学部）
X3USM02	春	火	3	Japanese Management	国際交流科目※ （経営学部）
X3USM05	春	水	4	Japanese Production Management	国際交流科目※ （経営学部）
X5UCC01	春	水	3	Modern History of Japan	国際交流科目※ （教育人間科学部）
X5UCC02	春	木	3	Modern Japanese Foreign Policy: SE Asian Relations	国際交流科目※ （教育人間科学部）
X5UCC06	秋	火	4	Nuclear Issues Through the Translation of Hibakusha Accounts	国際交流科目※ （教育人間科学部）
X2USM03	秋	水	3	Principles of Economics	国際交流科目※ （経済学部）
9002076	春	金	3	Prospects of Arch, Infstr, Ocean Eng & Ecosystem Sci	教養教育科目 （自然科学）
9002075	秋	火	4	Prospects of Chemistry, Chemical Eng & Life Sci	教養教育科目 （自然科学）

9002077	春	火	4	Prospects of Maths, Phys, Elec Eng & Comp Sci	教養教育科目 (自然科学)
9002074	秋	金	4	Prospects of Mechanical Eng & Materials Sci	教養教育科目 (自然科学)
X3USM08	秋	火	5	Sustainability Management and Accounting	国際交流科目※ (経営学部)
X3USM03	春	水	2	The Business of Mobility	国際交流科目※ (経営学部)
X5UCC05	秋	月	4	Urban Social Issues in Japan	国際交流科目※ (教育人間科学部)

※学部名が書かれた科目はその学部では専門科目として扱われる可能性があります。詳細は所属学部の学務担当係で確認してください。

科目群 E (リーダーシップ&ファシリテーション科目)

時間割コード	期間	曜日	時限	科目名	科目区分・備考
9003069	秋	水	3	Instruction and Document Design #1	教養教育科目 (現代科目)
9003070	春	水	3	Instruction and Document Design #2	教養教育科目 (現代科目)
9003077	秋	金	4	Leading and Teaching Internship #1	教養教育科目 (現代科目)
9003078	春	金	4	Leading and Teaching Internship #2	教養教育科目 (現代科目)
9003059	秋	水	5	Multicultural Project #1	教養教育科目 (現代科目)
9003060	春	水	5	Multicultural Project #2	教養教育科目 (現代科目)
9001060	秋	木	3	Transcultural Understanding through English	教養教育科目 (人文社会)
9001061	秋	水	3	Transcultural Understanding through English #2	教養教育科目 (人文社会)

参考資料 2.

(各様式はグローバル Plus ONE 副専攻プログラムのウェブサイトからダウンロードのうえ利用してください。)

様式①大学院生用履修申請書

様式②「科目群 A」単位修得計画書

様式③「科目群 A」単位認定申請書

様式④修了証書申請書

様式① 大学院生用履修申請書

平成 年 月 日

グローバル Plus ONE 副専攻プログラム

委員会委員長 殿

履 修 申 請 書

グローバル Plus ONE 副専攻プログラムの科目となっている教養教育科目・国際交流科目を履修したく、以下のとおり申請いたします。

学生氏名		学籍番号		
研究科・学府		専攻		
メールアドレス				
番号	科目名	時間割コード	学期・曜限	担当教員
1				
2				
3				
4				
5				

所属大学院学務担当係 御中

貴大学院所属の学生から、グローバル Plus ONE 副専攻プログラムの修了要件を得るために、学部授業科目について履修申請の届け出がありましたので、履修登録いただきますようお願いします。

平成 年 月 日

グローバル Plus ONE 副専攻プログラム

委員会委員長

Plus ONEオフィス 受付： 月 日	所属部局学務担当係 受付： 月 日
-------------------------	----------------------

(申請を希望する 1 科目ごとに 1 枚申請してください)

グローバル Plus ONE 副専攻プログラム
委員会委員長 殿

海外での学修について、グローバル Plus ONE 副専攻プログラムの「科目群 A」に該当するものとして、単位修得計画書を以下のとおり提出します。

氏名	学籍番号
学部・大学院	学科・専攻
メールアドレス	
科目の区分： a．民間外交実習、b．海外異文化実習、c．国際ボランティア	
学修計画の概要 【重要！】活動概要・実施計画、実施体制がわかるパンフレットなど、学修内容や学修時間が分かる資料を添付してください。	
使用言語： 英語 ・ 中国語 ・ 韓国語 ・ その他（ 語 ）	
学修機関名：	
学修予定時間数： 時間（詳細は別に添付すること）	

様式③「科目群 A」単位認定申請書

(申請を希望する 1 科目ごとに 1 枚申請してください)

平成 年 月 日

グローバル Plus ONE 副専攻プログラム

委員会委員長 殿

「科目群 A」単位認定申請書

海外での学修について、グローバル Plus ONE 副専攻プログラムの「科目群 A」に該当するものとして、単位認定申請書を以下のとおり提出します。

氏名	学籍番号
学部・大学院	学科・専攻
メールアドレス	
科目の種類：	1. 所属学部・大学院で認定された科目 ※所属学部・大学院が発行する単位認定書の写しを添付すること。 (科目名：) 2. 所属学部・大学院が開講する科目 ※海外での学修を証明できる資料を添付すること。 (科目名：) 3. 海外で単位を修得した科目 ※単位修得証明書および学修内容・学修時間が分かる資料を添付すること。 (科目名：) 4. 単位が出ない海外での学修 (a . 民間外交実習 b . 海外異文化実習 c . 国際ボランティア)
【3.または4.の場合は以下も記入してください。】	
学修内容	
【重要！】現地活動報告、成果物・記録写真、指導教員・担当教員の評価や評価報告など、学修内容や学修時間が分かる資料を添付してください。	
使用言語： 英語 ・ 中国語 ・ 韓国語 ・ その他 (語)	
学修機関名：	
学修時間数： 時間 (詳細は別に添付すること)	

平成 年 月 日

グローバルPlus ONE副専攻プログラム
委員会委員長 殿

修了証書申請書

私は、グローバルPLUS ONE副専攻プログラムにおいて、所定の単位を満たしたので、以下のとおり修了証書を申請します。

氏名		学籍番号	
学部・大学院		学科・専攻	
メールアドレス		申請コース	
科目区分	科目名・単位数 (下記に科目名・単位数を記入してください。)		
科目群A	1 単位数：	2 単位数：	
	3 単位数：	4 単位数：	
科目群B	1 単位数：	2 単位数：	
	3 単位数：	4 単位数：	
科目群C	1 単位数：	2 単位数：	
	3 単位数：	4 単位数：	
科目群D	1 単位数：	2 単位数：	
	3 単位数：	4 単位数：	
科目群E	1 単位数：	2 単位数：	
	3 単位数：	4 単位数：	

備 考

- ・申請したコースの修了要件を満たしているかを副専攻プログラム委員会で審査します。満たしている場合には、修了証書が授与され、成績証明書に副専攻名が記載されます。
- ・申請は随時受け付けますが、4月・8月・10月・2月の第3金曜日を受付締切日とし、それぞれ5月末、9月末、11月末、3月末に修了証書が交付されます。